

## 《いやし系キャラ》

「誰に似てるって言われる？」  
 初対面の時などに交わす会話の代表例とも言えるこの質問。素子にする時は次のようにアレンジするとよいだろう。  
 「何に似てるって言われる？」  
 すると素子は答えてくれるはず。  
 「白イルカとかポムポムプリンとかミーフーって言われるかな。」  
 人間ではない所がやや気になるが、いずれもいやし系キャラ。この慌ただし世の中で今もっとも注目されているキーワード「いやし」。寛之もこの素子のいやしの魅力にはまったか。  
 ちなみに、敢えて芸能人と言うと：「羽田美智子」という説が有力である。

## 《素子の世界》

「むーカーフーカー」といいながら笑っている。  
 「おなかいっぱい」といいながらまだ食べている。  
 「酔ってないー」と言いながら酔っている。そこからでも飲みますよ。  
 「えー、やだあ」と言いながらも付き合ってくれる。  
 「もう疲れた〜」と言いながらも頑張りや。  
 「眠い〜」と言いながら・・・本当に寝る。  
 彼女の名は、素直の「素」に子供の「子」と書いて「素子」…。

### ポイ捨て厳禁!!

この紙には住所や電話番号などの個人情報が見記されています。捨てる時には注意してください。

請求書はお早めに  
 次月に繰越になります  
 岩切均会計事務所

## 写真を見ていてふと気が付いたこと。

誕生時



幼少時



小学校低学年



小学校高学年



幼少時



保育園(?)



幼稚園



小学校

注目点：口の開き具合

ちっぽけになる

# スロポーズ

2003年7月5日。横浜。  
初夏というのに海が近いせいで、やけにジメジメとした空気が流れていた。周囲では光化学スモッグで霞んだ星と、渋滞している車のテールランプが、とかげの脚のように連なっている。

そんな辛気臭い夜、うねうねと曲がったボーリングレーンのような大栈橋を、疲れた二人組がダラダラと歩いていった。若者のうちの一人、前田寛之は、よだれが垂れればかりにだらしなく口を開けて思い悩んでいた。「プロポーズするんだよう。おっ、おっ」口にはしないが、いつものように北半球の間にはわからない感嘆詞を心の中で繰り返す。

とにかく彼は焦っていた。本当なら去年のクリスマスにプロポーズするはずだったのである。あの時の彼は、どんな店



に行っても「うまい、うまいっ」しか言わない男には分不相応な程良いお店を頑張って予約し、根拠の無い「だいじょぶ。だいじょぶ」を心の中で繰り返しながらも、ばっちり決めるつもりでいた。しかし、思わぬ事態が起こってしまった。ウェイターがご陽気な奴だったのだ。馬に人參をあてがうのと同じで、性分がお天気な彼は、すぐにそれに食いついてしまったのである。彼はそんな自分を憎んだ。後悔先に立たず。そうして結局、その後半年以上もプロポーズを言い出せぬまま時が過ぎたのであった。

そんな愚かしい過去の失態を思い返していた時、ふと心地良い浜風が前田の頬をかすめた。風上に目をやると、ぼやけた星とテールランプが一つになり、自分たちがまるで宇宙の真中にいるような錯覚に陥りそうになった。そして、ゆっくりと決まったリズムで、栈橋全体を包み込むように押し寄せてくる波。全てを癒してくれるようなその波音。打ちひしがれ

ていた彼の心に静けさが訪れた瞬間、隣に立っていた素子さんと目が合った。いつも一緒に笑い、悩み、そして自分を暖かく見守ってくれている素子さん。それはまさに彼にとって完璧な一瞬。ふと自分の中で何かはじけた。緊張と不安の気持ちには、もはやすっかりどこかへ消え去り、全てを包み込む大きな愛情の波へと変わった。彼の、自分の素直な気持ちがかからこぼれ落ちた。そう、決して難しいことなどではなかったのだ。

「来年の春、結婚してください」

何故来年？しかも春限定？なんて野暮なことは思わなかった。それ以上に嬉しい気持ちで一杯だった。素子さんは答える。大棧橋の満点の星空よりも大きな愛情を心に秘めて。

「はい」

それは、2003年7月5日二人にとって忘れることのできない、心地よい風が舞うある日のできごと。

# 友なりのエール

## ホモと呼ばれた前田寛之

ベルリンの壁が崩壊し東西ドイツが統一された1990年秋、前田寛之は法政二高から鳥取県立米子東高等学校に転入してきた。

東京の言葉しか話すことのない彼は、慣れない地方の環境の中で戸惑っていた。

「本屋さん行くこうよー！」

この言葉が彼の米子における運命を決定付けた。

「オマエはホモかー!!」

男子が本屋のことを「さん」付けで呼ぶ前田に対して、容赦のない罵声が浴びせられ、結果かれはホモ疑惑を抱えたまま高校生活を送る羽目になってしまったのであった。

しかし、彼はくじけなかった。ゲーセン仲間と「チエリー部(ゲーセン部)」を結成。また

彼女のいない有志と宗教団体「ピエロ教」を設立し布教活動を行うなど、いつの間にか彼は仲間の中心にいた。

そして、あれから14年経った今、ついに素子さんとの結婚で見事ホモ疑惑を払拭したのだ。

彼の根性には脱帽というほか無い。おめでとう、前田寛之!

(藤井孝昌)



(写真：前田氏高校時代)

素ちゃん・寛之さん☆ご結婚おめでとう☆

私と素ちゃんのお付き合いも入社以来、田端勤務の同期として早いものでもう8年もの月日が経ちました。

いつも笑顔で大らかな素ちゃんは私達田端、Sのお姉さんの存在。素ちゃんお得意の『笑顔で毒舌トーク』も魅力的です。そんな素ちゃんが初めて寛之さんを紹介してくれたのは3年前の冬、雪が降積もる高杖高原スキー場でした。

寛之さんの印象は『素ちゃんを優しく包んでくれそうな方』で実際もそうでしたね♪

素ちゃんを抱きかかえ白銀の世界をさっそうと滑る姿に私達は☆ドキドキ☆でしたわ〜!

これから家庭と仕事との両立で大変になるかと思うけれど、私達田端、S一同これからも応援し続けます!

あの日二人で愛のシユプーを描いたようにこれからも協力し合い幸せいっぱいの家庭を築いてください。

お二人の未永い幸せを心よりお祈りしています。  
(田端、S代表 坂本 菜穂子)



(写真：素子さん高校時代)

## ふと気が付いたことその2



あれは、大学時代のサークルのスキー合宿での出来事でした。彼は、僕のビデオカメラでサークルのみんなを「いいよーいいよー。おっけー、いいよー」とまるでエロビデオの監督のように撮っていました。まえりんのカメラ好きは、それから始まったのに違いありません。素子さん、カメラ好きのまえりんが、きつとこれからもいろんな趣向で撮影するとはおもいますが、我慢して付き合ってあげてください。

(加藤隆三)

ご結婚おめでとうございませう☆お二人が今日のこの日を迎えられること、私も心から嬉しく思っています。

いつも楽しい話をしてその場を明るく雰囲気してくれる寛之さんと、周りをほんわかした雰囲気させるいやし系の素ちゃんは、本当にとってもお似合いのカップルですね。

初めて一緒に旅行した沖縄では、キッチンがあるにもかかわらず、沖縄そばのカップ麺で夜ご飯をすませただけ、今では料理教室で鍛えた腕で、素ちゃんのパ丁の音もトントントンととても軽やか♪のんびりしているようで、実はしっかり者でもあるし、寛之さん、あなたは幸せ者ですね、

これからも、ずっと仲良しな二人で、ステキな家庭を築いてください。お幸せにー！！

(吉村涼子)

### 編集後記

A4の2つ折りで。A3を印刷できるプリンターが欲しいなあ…

清水。

前田 寛之・素子 住居はこちら

個人情報の為割愛



熱烈歓迎 土産持参 洗物手伝 熱烈歓迎